

平成28年1月15日

地区協議会 議長 殿
都道府県空手道連盟会長 殿
競技団体空手道連盟会長・部長 殿
協力団体（会派団体）会長 殿

公益財団法人全日本空手道連盟
会長 笹川 堯



通 知

国際オリンピック委員会（I O C）が示した五輪改革の新方針「アジェンダ2020」の採決によって、開催国の文化と伝統に根ざした、若者に人気のある競技を開催都市が推薦できることになりました。そして昨年九月「空手」が東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より2020年東京オリンピックの追加競技としてI O Cに提案されました。

日本発祥の空手道が沖縄から世界の空手に成長し、オリンピック競技の空手になれるチャンスです。また全空連では、2020年の東京オリンピックの参加だけでなく2024年のオリンピック・パラリンピックの正式採用も視野に、世界空手連盟と協力して、世界中の空手を愛する人々が渴望する瞬間が現実のものとなるために、採用に向けた活動を展開したいと思います。

「空手道は、沖縄においてわが国独自の徒手空拳の武術として発展し、国内に普及する過程において、日本古来の武道の精神を継承しながら、術から道に発展したわが国固有の武道である。かつて武道は、武技の習得、技の練磨のみならず、心技一如の教えに従い、礼を修め、心身を鍛える修行道・鍛錬法として発展してきた。このような武道の伝統精神は空手道の中にも継承され、空手道を学ぶ多くの日本人の人格形成に少なからざる役割を果たしている。

いまや空手道は、国内はもとより世界各国に普及し、国際交流を通じて世界平和の実現、健全で有為な青少年の育成等に多大の貢献をしている。我々はたんなる技術の習得のみに偏らず、武道の精神を基とする空手道の真髄を忘れることなく、高い倫理観をもって日本の伝統文化の維持・発展に寄与するとともに、日本国民として礼と節を重んじ、社会のルールを守り、社会に貢献し、社会から尊敬される有為な人材の育成に努力しなければならない。」（「空手道憲章」）より

◇中学校武道必修化の現状

武道が教育的価値として重要な役割を担っていることは論を俟ちません。空手道を授業に採用している中学校は、昨年12月現在、211校にのぼり、徐々にその数を増やしております。中学校武道に空手道が採用されているということはとても重要なことであります。加盟各団体においては、空手道の特性に誇りと自信をもって中学校に働きかけ、多くの中学生が空手道に触れる機会を増やしていただきたいと思えます。

◇民主的な組織運営と指導者の資質向上

加盟登録や選手選考についてスポーツ仲裁機構に提訴する事案が増えております。加盟手続きに関するトラブルで大会に出場できないとか、予選大会に優勝したのに本大会に選ばれなかった、といった問題もきます。各加盟団体においては、これらの問題に真摯に取り組み、開かれた組織運営をお願いする次第であります。また、体罰等で指導者が訴えられる問題が起こっています。指導者は、技術指導者であるとともに人格者でなければなりません。指導者がその成長の芽を摘むようなことのないよう、責任ある行動と自覚を持ってください。

以上